



エコパートナーシップうじたわら

うじたわらの木くん

～茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまら～

発行日：平成19年3月28日（第15号）

編集・発行：エコパートナーシップうじたわら広報部会
事務局 TEL（88）6635 FAX（88）3231

☆『省エネゲーム～これぞ究極の地球温暖化防止法～』を開催しました☆

エコパートナーシップうじたわらでは、平成19年3月8日（木）に『省エネゲーム～これぞ究極の地球温暖化防止法～』を、宇治田原町総合文化センター第3研修室で開催しました。

当日は、下は4歳から上は70歳までの非常に幅広い年齢層33名の参加者がありました。

講師は昨年「地球の学校」でもお世話になった、京都府地球温暖化防止活動推進センターの木原コーディネーターで、連日、地球温暖化防止のために京都府内を精力的に駆け回っておられる中、合間を縫って駆けつけていただきました。



熱心に説明を聞く参加者



「省エネゲーム」の様子

地球温暖化は世界規模での問題になっており、今冬の日本の平均気温は、気象庁が統計を開始した1899年以降、第1位タイの高い記録となりました。世界各国でも温室効果ガス削減に向けた取組も行われています。

そのような中で、今回「省エネゲーム」を開催する狙いは、家庭で誰でもできる地球温暖化防止法を紹介し、実践してもらうことです。

参加者は5つのグループに別れ、300万円の資金を使って家電製品を省エネ製品に買換え、20年間でどれだけ二酸化炭素排出量削減ができるのかということと、節約金額を競い合いました。

最高で二酸化炭素排出量削減70%、節約金額430万円という結果もあり、省エネ製品に買替えるだけで簡単に二酸化炭素排出量の削減につながることも分かりました。

最後に、「10～20年の間には、必ず電化製品を買替えなければならないときがきます。買替えのときに、きちんとした省エネ製品を選ぶと大きな二酸化炭素の削減ができます。省エネ製品を選ぶということが大切で、無理なく二酸化炭素を削減できます。消費者にできる温暖化対策があつて、効果も非常に大きいことをこのゲームを通じてみなさんに分かってもらいたかったことです。」と、木原コーディネーターは締め括られ、閉会しました。

（上記関連記事）



『省エネゲーム～これぞ究極の地球温暖化防止法～』紹介



【目的】

このゲームは省エネしようと思っけていても、なかなか実行できないでいる人が4～6人でチームを作り、10～20年間でどれだけ二酸化炭素を削減できるかを競うゲームです。「お買い物ゲーム」感覚で楽しみながら、「地球温暖化防止」の問題をまじめに考えることを目的としています。

【概要】

各グループ300万円の資金を使って、標準4人世帯の家財や家電製品の買替えでどのくらいの省エネができるか競います。

省エネにより、どれだけの二酸化炭素が削減できたかを計算します。買替えるならば古い機器を捨てることで排出される二酸化炭素も計算に入れます。また、投資金額300万円の内、いくらが回収できるかも計算します。

省エネにより、かなりの金額が戻ってくることに驚かされます。

映画『不都合な真実』を観てください！！



【解説】

二酸化炭素などの温室効果ガスが増えることで地球の気温が上がる「地球温暖化現象」。これによる海水面の上昇や異常気象、巨大ハリケーンの発生、生態系の変化といった事態が引き起こされている。このままいけば、動物や植物、そして人類は危機的な状況に陥ってしまうだろう。

こうした地球温暖化問題に心傷めた元米副大統領のアル・ゴアは、環境問題に関するスライドを世界中で開催。人々の意識改革に乗り出していく。

アル・ゴア氏

“不都合な真実”とは、地球温暖化問題のこと。京都議定書の受入れを拒否しているアメリカの一部政治家などにとっては、確かにこの問題は不都合だろう。

しかし、不都合であろうがなかろうが、温暖化は確実に進行しており、人類は着実に破滅への階段を登っている…。

そんな現実をクリアに提示するのがこの作品。ゴア元副大統領の講演を中心に構成されており、データやビジュアル、ユーモアをたっぷり用いて、温暖化をわかりやすく、説得力をもって伝えてくる。その主張を受け入れるか、拒否するかは観た人の考え次第だが、少なくともその選択を迫るだけのパワーとベクトルをこの作品は持っている。

あなたはこの真実をどう受けとめますか？

次の方・団体から賛助会費をいただきました。誠にありがとうございました

宇治田原町、株式会社宇治田原製茶場、宇治田原工業団地管理組合、宇治田原町商工会、宇治田原町森林組合、協栄開発株式会社、区長会、JA京都やましろ宇治田原支店・田原支店、株式会社馬場義電気、株式会社播磨園製茶、米田造園土木株式会社

※平成19年2月末現在（50音順・敬称略）

☆エコパートナーシップうじたわら入会のご案内☆

◆会員の区分

- ・個人会員＝町民、町内への通勤・通学者、環境に関心のある人
- ・団体会員＝町内で活動する団体及び法人
- ・賛助会員＝本会の趣旨に賛同し、活動を支援する個人・団体及び法人

◆会費

- ・個人会員・団体会員については、無料です。
- ・賛助会員については、活動支援金として年額1口5,000円の会費を募ります。

◆入会の方法

- ・入会申込書に必要事項を記入し、事務局に申し込んでください。

◆部会

- ・広報部会…会報誌の発行、活動報告書の作成、イベント等の啓発
- ・自然・生活環境部会…河川や動植物の学習会、自然観察ファミリーハイキング開催
- ・循環型社会・地球温暖化防止部会…生ごみ処理機の普及啓発、環境家計簿の普及等

応募先・お問い合わせ先：エコパートナーシップうじたわら事務局

（宇治田原町循環型社会推進室内）

〒610-0289 京都府綴喜郡宇治田原町大字荒木小字西出10

TEL 0774-88-6635 FAX 0774-88-3231

Eメール：junkan@town.ujitawara.kyoto.jp



茶文化の源 水・緑・生命の環を育む和みのまち 宇治田原